

厚生労働省
第3回 医師の働き方改革を進めるための
タスク・シフティングに関するヒアリング

医師の働き方改革を進めるための タスク・シフティングについて

令和元年7月26日

日本歯科医師会	副会長	柳川忠廣
日本歯科医学会	総務理事	小林隆太郎

平成30年度診療報酬改定 I 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進

周術期等の口腔機能管理の充実

周術期等の口腔機能管理のイメージ



医科歯科連携の推進

- 診療情報提供料(I)の歯科医療機関連携加算の対象手術の拡大
- 周術期口腔機能管理後手術加算の対象手術の拡大

周術期等の口腔機能管理の実態に応じた見直し

- 「周術期口腔機能管理計画策定料」等の関連する項目を「周術期等口腔機能管理計画策定料」等に名称変更
- 周術期等の口腔機能管理の対象患者の適応拡大と目的の明確化
- 手術後早期に口腔機能管理を開始する場合の取扱いの明確化

放射線療法や化学療法に対する口腔機能管理の充実

- 手術前の周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)の算定要件の見直し
- 放射線療法又は化学療法による口腔粘膜炎に対する専門的口腔衛生処置の新設

栄養サポートチーム連携加算(歯科疾患在宅療養管理料の加算)

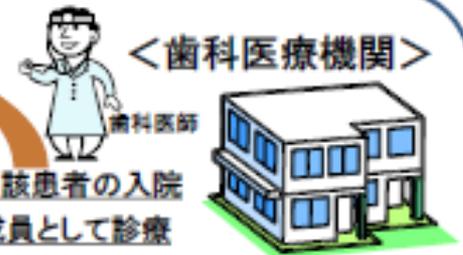
栄養サポートチーム連携加算1

<病院(歯科標榜なし)>



歯科医療機関から訪問
NSTに参加

<歯科医療機関>



他の保険医療機関に入院している患者に対して、当該患者の入院している保険医療機関の栄養サポートチームの構成員として診療

- ・週1回程度の回診・カンファレンスの実施
- ・カンファレンス等の結果をふまえ、歯科疾患在宅療養管理料の管理計画(口腔機能評価に基づく)を策定

歯科訪問診療を実施

栄養サポートチーム連携加算2

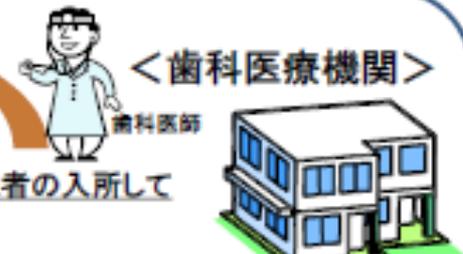
<介護保険施設>

※介護福祉施設、介護保健施設、介護療養型医療施設



歯科医療機関から訪問
ミールラウンド等に参加

<歯科医療機関>



介護保険施設に入所している患者に対して、当該患者の入所している介護保険施設で行われる食事観察等に参加

- ・経口による継続的な食事摂取を支援するための食事観察及び会議等に参加
- ・食事観察等の結果をふまえ、歯科疾患在宅療養管理料の管理計画(口腔機能評価に基づく)を策定

歯科訪問診療を実施

口腔機能の管理による効果

千葉大学医学部附属病院における介入試験結果

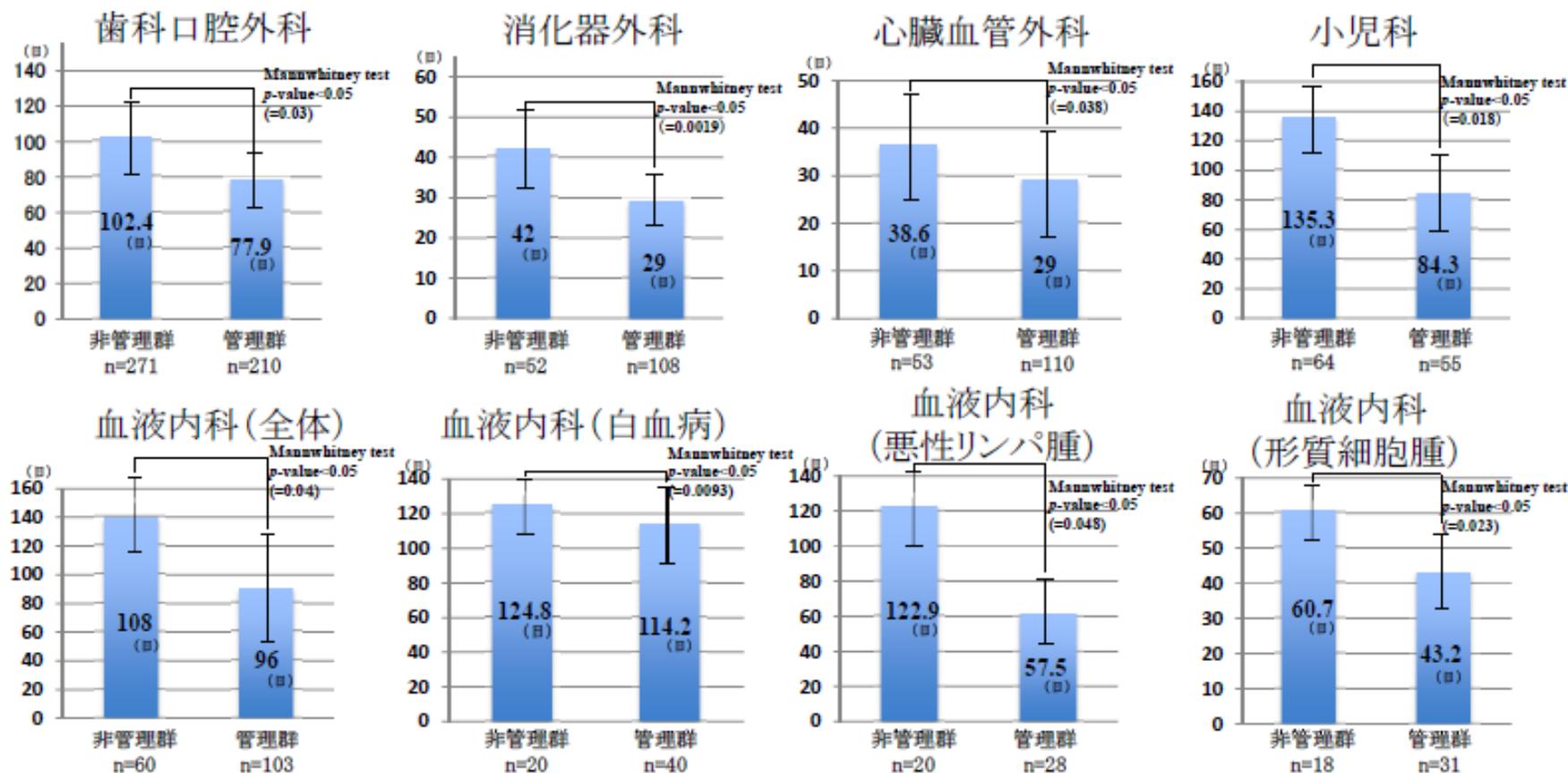
【試験概要】

- 千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科にて口腔機能の管理を実施。
- 2004年1月から2013年10月までの9年10か月間。
対象診療科により、調査期間が異なる。
- 歯科・顎・口腔外科、消化器外科、心臓血管外科の手術症例。
- 歯科・顎・口腔外科の放射線治療症例。
- 小児科、血液内科は悪性腫瘍に対する化学療法症例。

【口腔機能の管理の内容と本研究における対象群に関して】

- 「口腔機能の管理」:単なる清拭だけではなく、歯周ポケット、カリエス、歯根管内、根尖部、顎骨、唾液腺など、専門領域に対する専門的処置により、口腔の機能をできるだけ正常に保つ。
- 「非管理群」:従来の主に看護師により行われてきた口内清拭などの一般的な口腔内ケアを受けた群。
- 「管理群」:歯科医師により診査・計画され、歯科医師・歯科衛生士により実施された専門的な口腔機能の管理を受けた群。

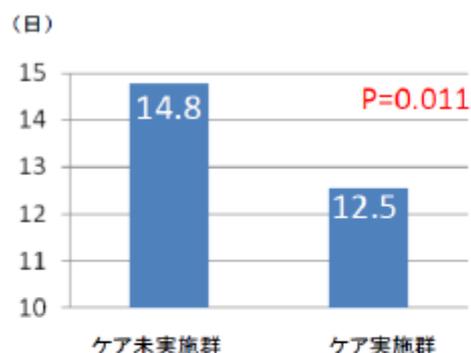
口腔機能の管理による在院日数に対する削減効果



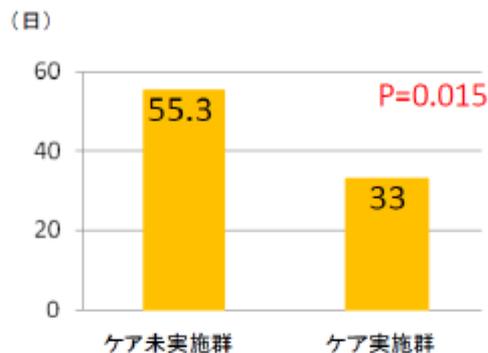
- いずれの診療科においても在院日数の削減効果が統計学的に有意に認められ、その効果はほぼ10%以上あることが明らかになった。
- 口腔に近い領域だけではなく、侵襲が大きな治療の際に口腔機能の管理が重要であると考えられる。全身的負担の大きな治療に際して、後述するように、口腔内細菌叢が崩れるのを防いでいるものと推測できる。

大阪警察病院における 周術期口腔ケアの効果に関する検討

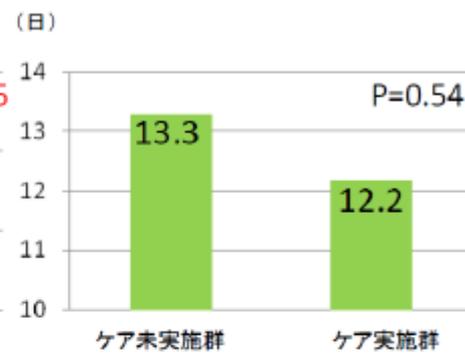
入院日数



胃癌



食道癌



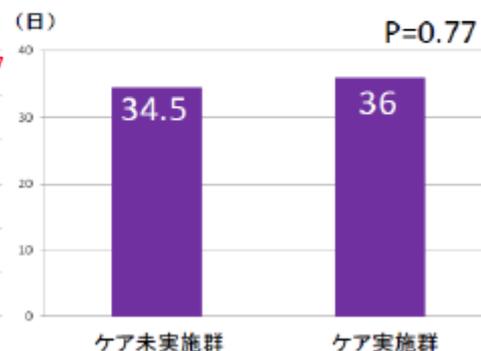
甲状腺癌



大腸癌
(結腸癌)



大腸癌
(直腸癌)

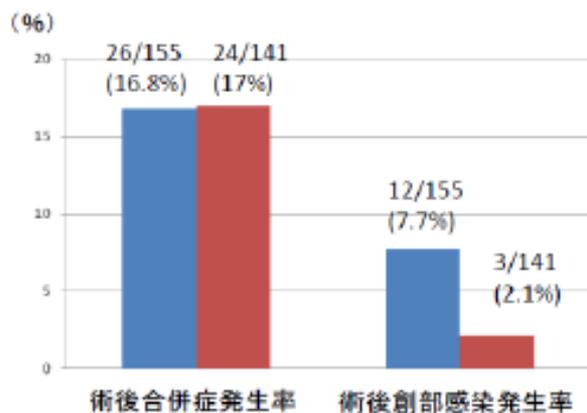


心臓

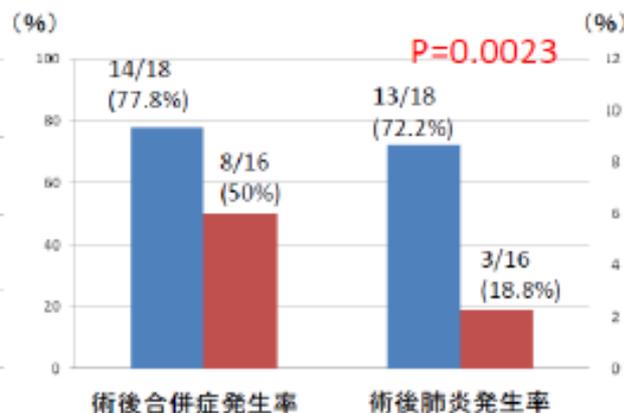
合併症

合併症：創部感染・肺炎・縫合不全・イレウスなど

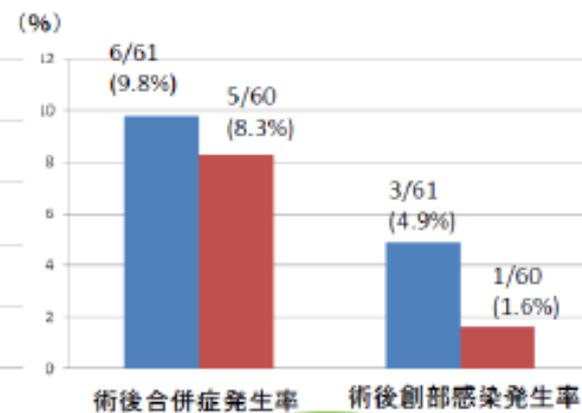
■ ケア未実施群
■ ケア実施群



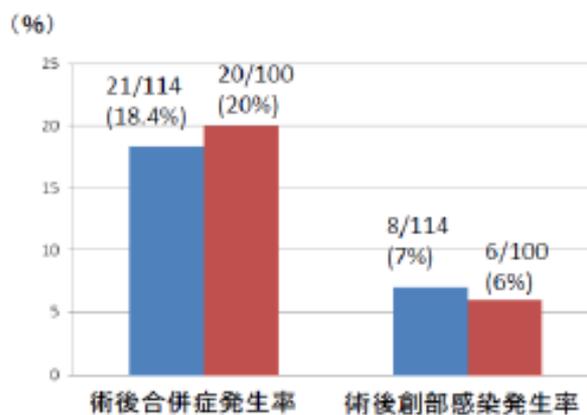
胃癌



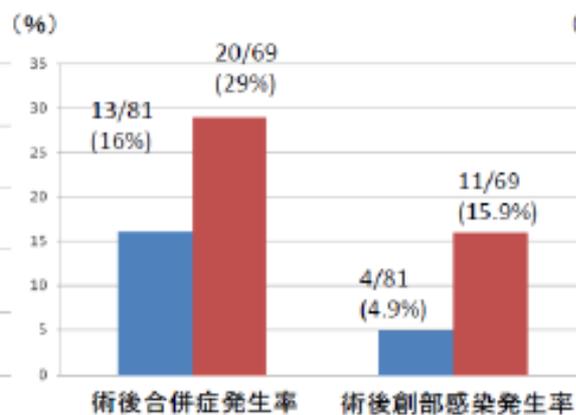
食道癌



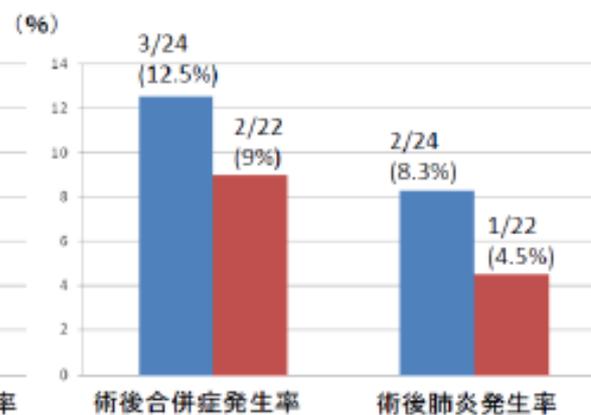
甲状腺癌



大腸癌
(結腸癌)

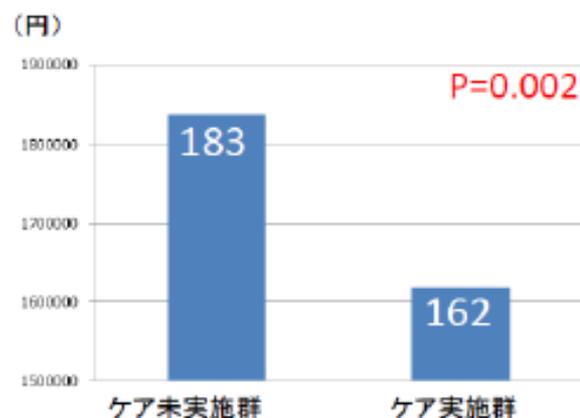


大腸癌
(直腸癌)

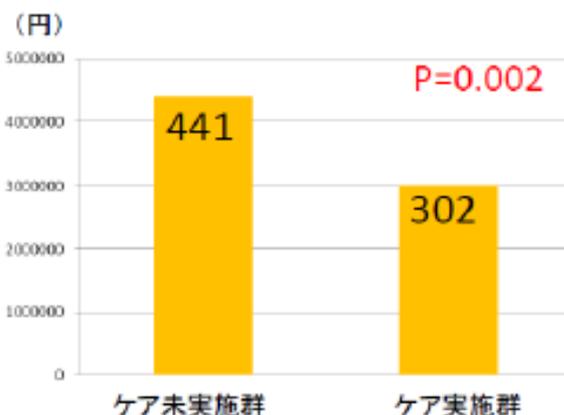


心臓

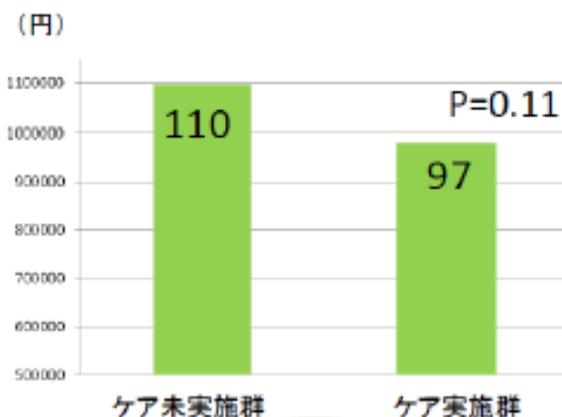
医療費



胃癌



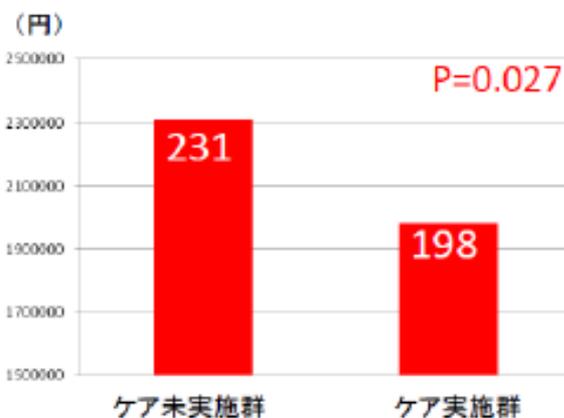
食道癌



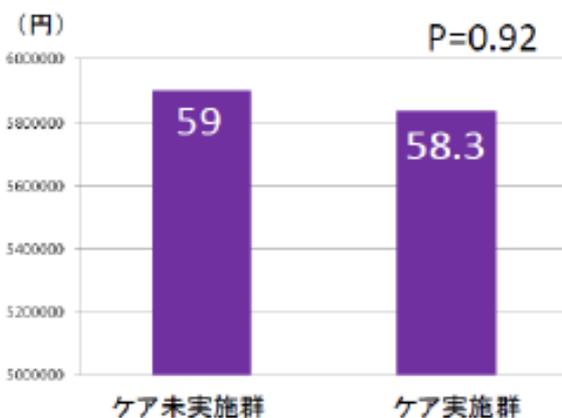
甲状腺癌



大腸癌
(結腸癌)



大腸癌
(直腸癌)



心臓

病院における医科歯科連携に関する調査 (日本歯科総合研究機構)

調査実施時期

平成29年10月下旬～平成29年12月下旬

発送数 8,437施設

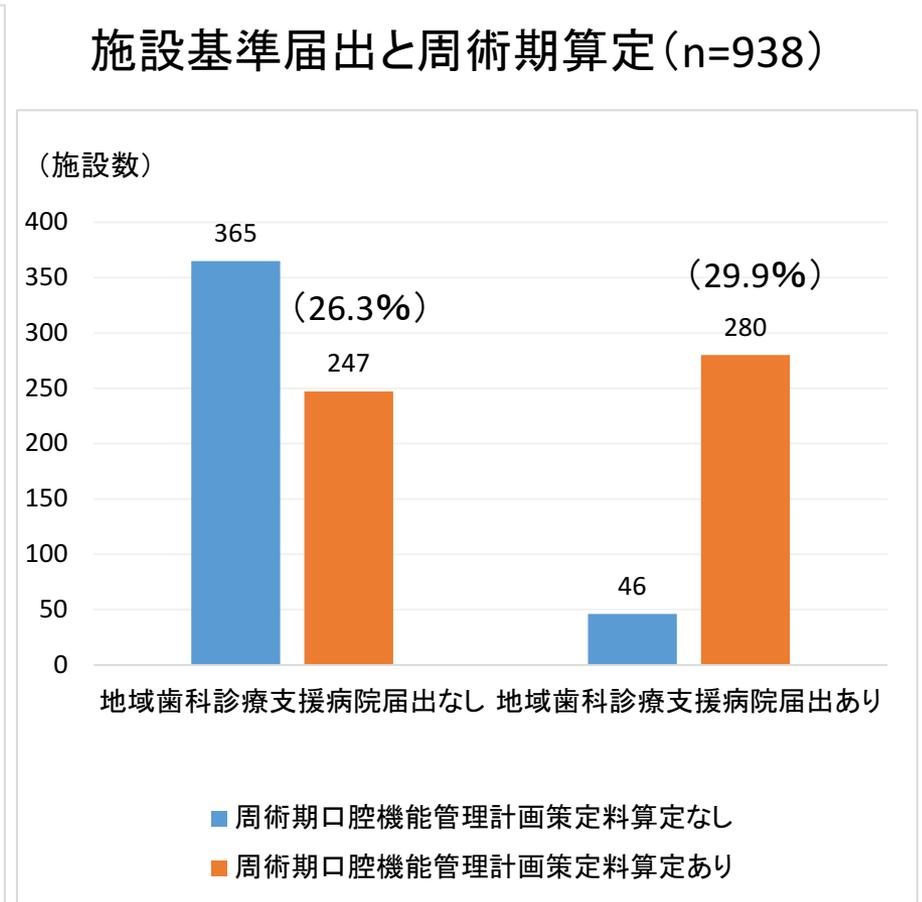
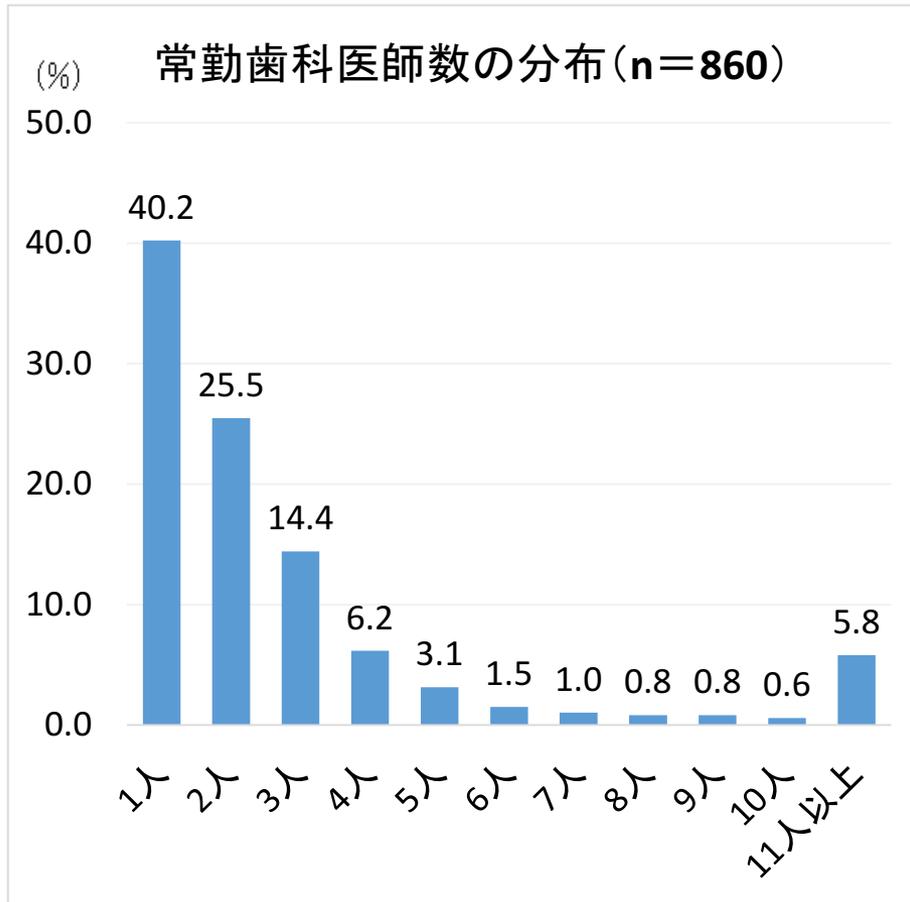
歯科標榜あり
1,745 (20.7%)

歯科標榜なし
6,692 (79.3%)

有効回答数
1,078 (61.8%)

有効回答数
2,475 (37.0%)

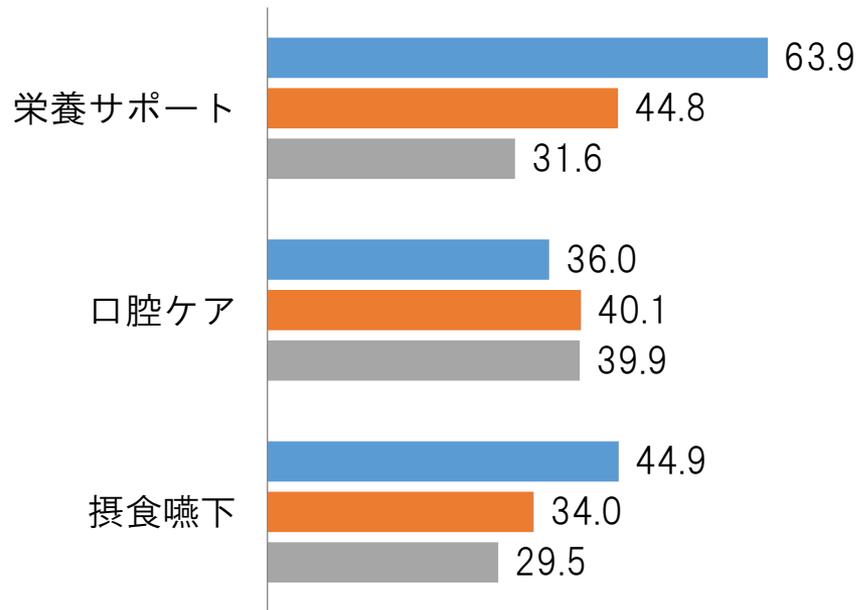
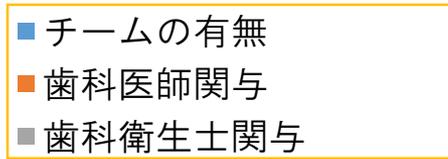
病院における医科歯科連携に関する調査(歯科標榜病院調査結果より)



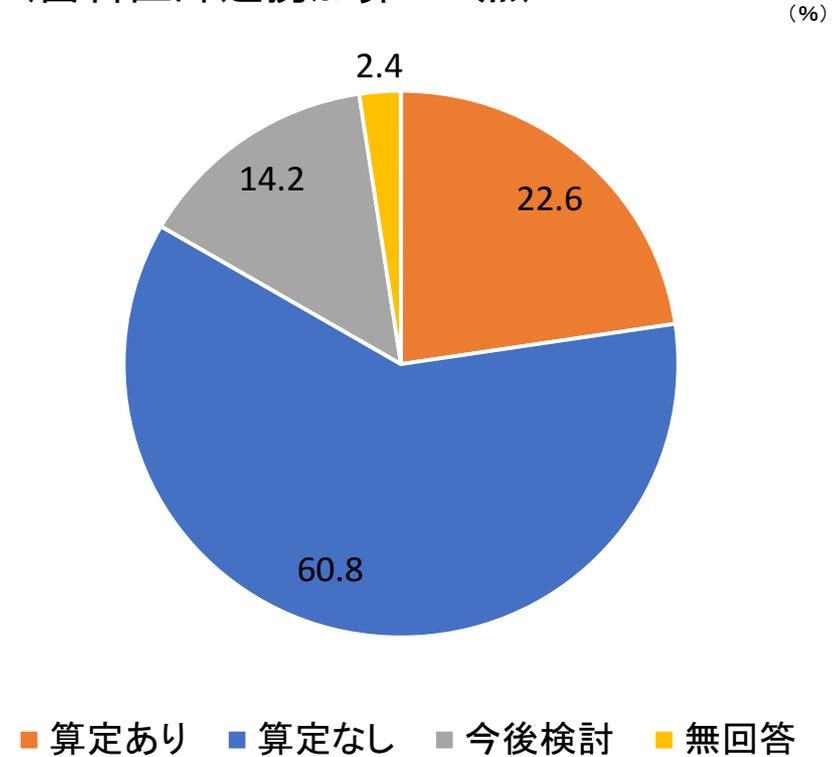
- ・ 歯科標榜病院の常勤歯科医師数は 1名が約4割
- ・ 地域歯科診療支援病院の施設基準の届出がないが、周術期口腔機能管理を実施している病院は26.3%存在する。

病院における医科歯科連携に関する調査(歯科標榜病院調査結果より)

チーム医療への歯科職種参加状況



栄養サポート加算【医科点数】 (歯科医師連携加算 50点)

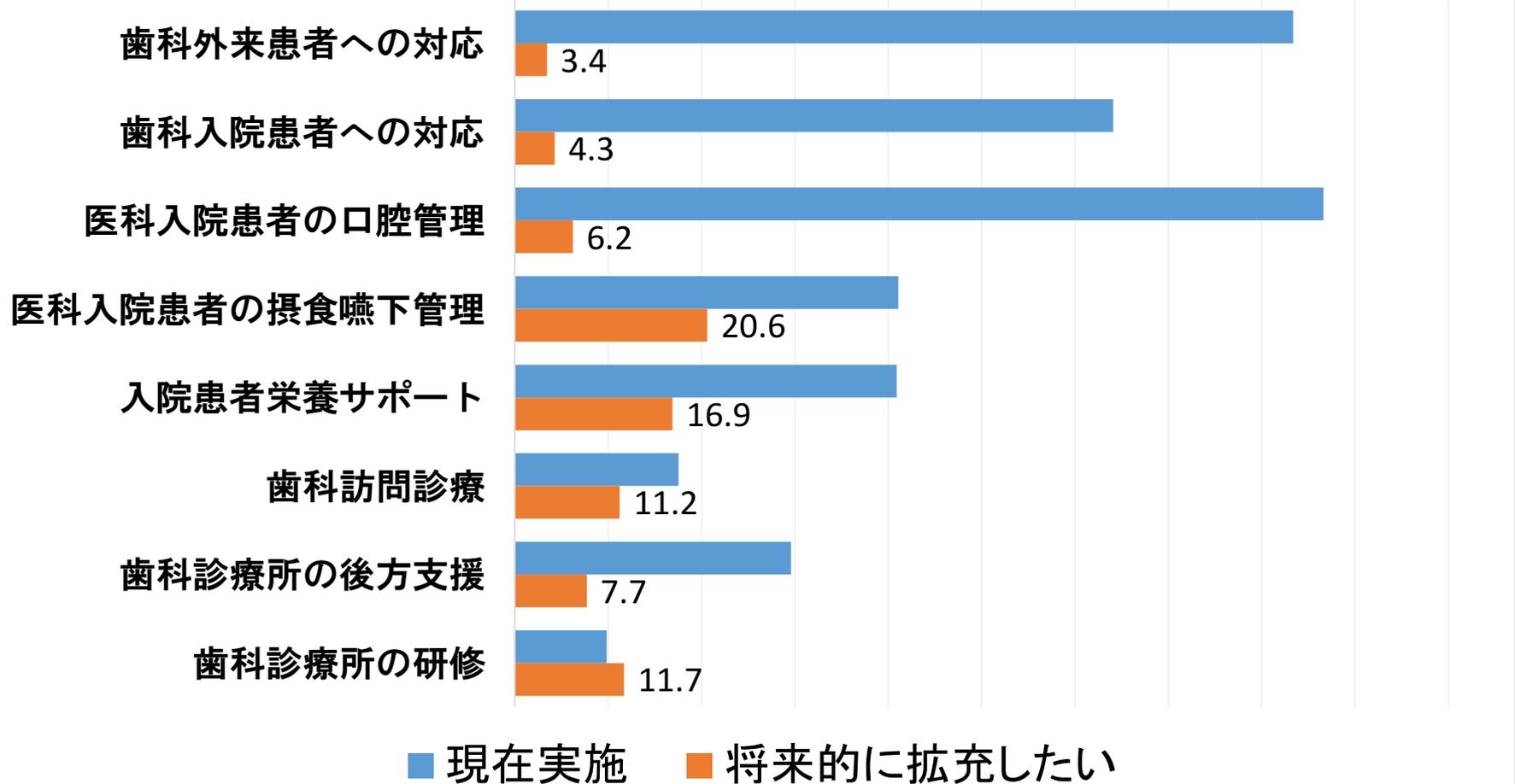


・歯科標榜病院では栄養サポートチームは約64%存在し、歯科医師は約45%において関与が認められた。しかしながら、栄養サポート(歯科医師連携加算)医科点数の算定がある病院は約23%にとどまっている。

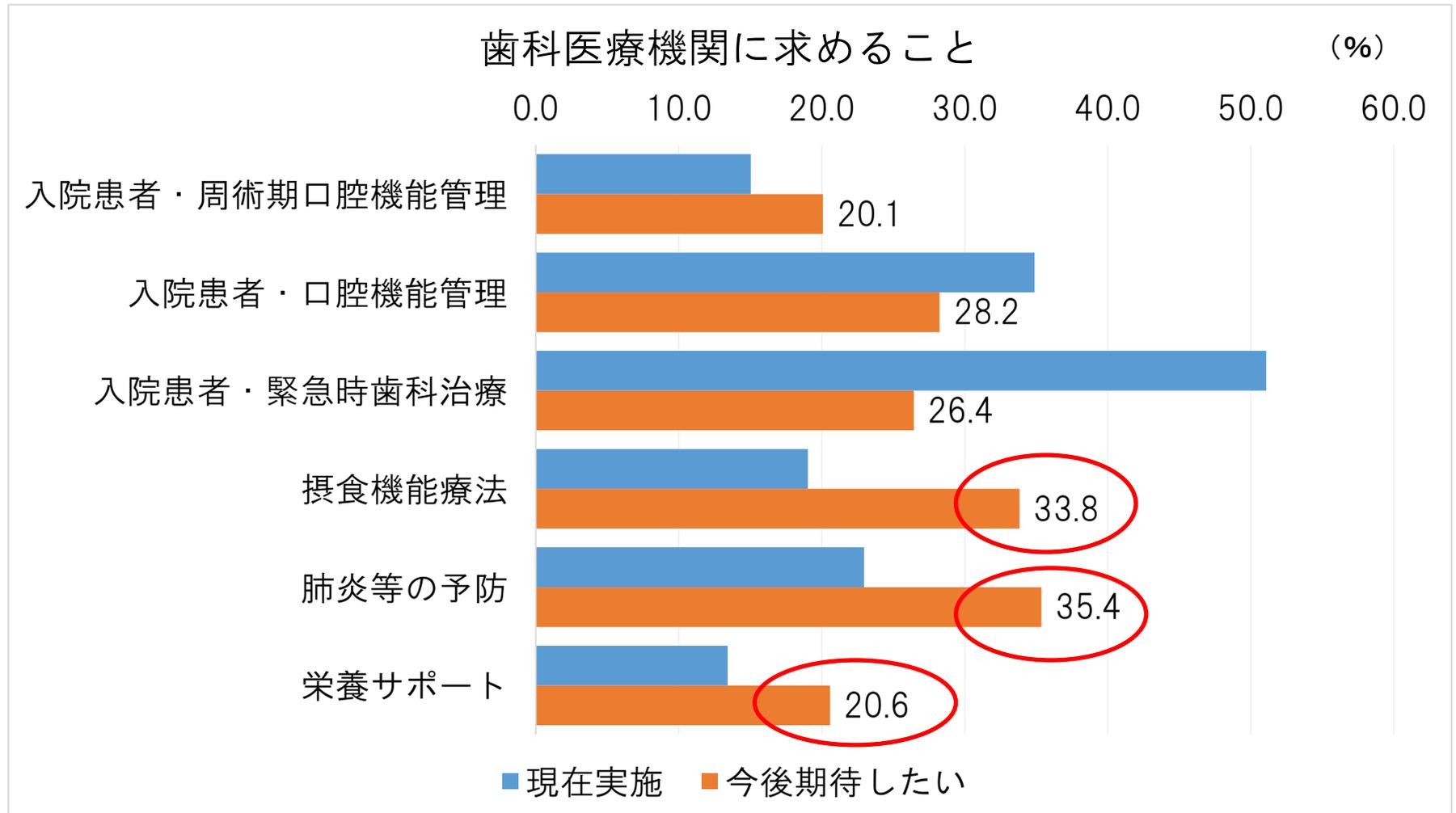
病院における歯科の役割

(%)

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0



病院における医科歯科連携に関する調査(歯科のない病院調査結果より)



・「歯科標榜のない病院」では現状での実施割合は低いですが、今後近隣の歯科医療機関に期待したい項目として、摂食機能療法・肺炎等の予防や栄養サポートという項目を回答した割合が高かった。

まとめ

- 病院に勤務する歯科医師についても、医科と同様の超過勤務の問題が存在する。
- 医師と歯科医師は医師法および歯科医師法に規定されるように、本来は指示関係ではないが、チーム医療や医科歯科連携という切り口でこれまでも連携を進めてきている。
- 口腔と全身との関連についてはエビデンスも蓄積されてきており、医科疾患の重症化予防や入院日数や合併症の軽減というデータも示されてきている。
- そもそも歯科を標榜する病院も少ないことや、マンパワーも限られるが、歯科職種の配置や増員を進める必要があることから、「医療の総量」を減ずる貢献が可能と考えている。